

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	学校を中心とした地域のつながり・防災意識向上事業
事業主体 (連絡先)	「子どもがまん中地域で高める防災意識」実行委員会 安曇野市豊科南徳高 2692
事業区分	④安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,580,700 円 (うち支援金: 1,099,000 円)

#### 事業内容

児童を対象に、実際に大規模地震等の災害への心得や対応方法を学び、防災ベンチのかまどの使い方や米の炊き方、段ボールでのパーソナルスペースの作り方などの防災訓練を行う事ができ災害に対する知識や意識の向上、指定避難場所の地域住民との繋がり等を高めた。

- ・防災ベンチの購入
- ・防災ベンチのかまどを使用した炊き出し訓練
- ・指定避難場所踏入地区の住民との連携や交流
- ・段ボールを使用したパーソナルスペースの確保訓練
- ・実行委員と学校関係者の防災ベンチ使用方法習得



【防災訓練・教育の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①防災意識向上
- ②災害時の活躍
- ③地域住民との交流・連携
- ④指定避難場所の設備向上

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 豊科北小学校5年児童に対し防災意識の向上を行う事ができ災害への備えの大切さを周知できた
- ② 指定避難場所への避難が必要になった場合の対応方法やパーソナルスペースの確保の重要性についても認識して頂けたと感ずることができた
- ③ 地域住民との繋がり向上ができ、もしもの災害時指定避難場所での運営ができるであろうと認識した。

※自己評価【 B 】

**【理由】**  
指定避難場所への防災ベンチの設置ができ地域住民と合同で防災訓練を行ったことにより防災意識の向上ができた。自主防災、訓練により今後の災害対策を講じられた

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

単年度計画ではなく、今年度実施できなかった認知症サポーター講座や模造紙を使用した「もしも・もしも」ロジックツリー等のワークショップを行いたい。コロナが収束し児童集合の場が持てる未来をめざして。

今後、指定避難場所対象の小・中学生や地域の住民の皆様との橋渡しができる人材発掘を行い、それと並行して防災意識向上・啓発活動・人材育成・連携意識の醸成を目指して長期継続ができる実行委員会を存続させたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある